

広島県後期高齢者医療広域連合の財政状況の公表

～ 平成22年11月 ～

この「財政状況の公表」は、皆さんに、広域連合のお金がどのように使われているのかといった広域連合の財政状況を知っていただくため、5月に下半期分(前年10月1日から3月31日まで)の財政状況及び当該年度の当初予算、11月に上半期分(4月1日から9月30日まで)の財政状況及び前年度の決算状況を「広島県後期高齢者医療広域連合の財政状況の作成及び公表に関する条例」に基づき公表するものです。

今回の財政状況の公表は、平成22年度上半期(平成22年4月1日から9月30日まで)の6か月間の予算の執行や財産の状況及び平成21年度の決算状況についての公表となります。

また、各項目の最後に、主要な予算科目の内容について簡単に説明していますので参考にしてください。

平成22年度上半期の財政状況

～予算執行の状況と資産等の概要～

以下において説明する広域連合の財政状況については、平成22年9月30日現在の状況を記載しています。

1 平成22年度上半期の補正予算の概要

上半期の補正予算のうち主なものは、次のとおりです。

(1) 一般会計

平成22年9月30日までに一般会計予算の補正はありませんでした。

(2) 後期高齢者医療特別会計

・第1号補正(8月) ※専決処分

平成21年度後期高齢者医療交付金が確定し、交付済額が超過となったため、社会保険診療報酬支払基金への返還金(518,844千円)を歳出予算に計上し、その財源として給付準備基金繰入金を増額しました。

●上半期の一般会計補正予算の状況

(歳入)

(単位:千円)

区 分	当初予算		予算現額
分担金及び負担金	850,810		850,810
国庫支出金	6,451		6,451
県支出金	6,451		6,451
財産収入	5,998		5,998
寄附金	1		1
繰入金	150,000		150,000
繰越金	1		1
諸収入	944		944
合 計	1,020,656		1,020,656

(歳出)

(単位:千円)

区 分	当初予算	予備費充用	予算現額
議会費	1,731		1,731
総務費	306,971		306,971
民生費	706,759		706,759
公債費	195		195
予備費	5,000		5,000
合 計	1,020,656	0	1,020,656

●上半期の後期高齢者医療特別会計補正予算の状況

(歳入)

(単位:千円)

区 分	当初予算	第1号補正 (8月) ※専決処分		予算現額
市町支出金	52,965,978			52,965,978
国庫支出金	109,167,876			109,167,876
県支出金	28,550,288			28,550,288
支払基金交付金	144,038,979			144,038,979
特別高額医療費共同事業交付金	59,600			59,600
財産収入	2,403			2,403
寄附金	1			1
繰入金	2,467,838	518,844		2,986,682
繰越金	1			1
県財政安定化基金借入金	1			1
諸収入	257,386			257,386
合 計	337,510,351	518,844		338,029,195

(歳出)

(単位:千円)

区 分	当初予算	第1号補正 (8月) ※専決処分	予備費充用	予算現額
総務費	672,156			672,156
保険給付費	336,060,505			336,060,505
県財政安定化基金拠出金	309,607			309,607
特別高額医療費共同事業拠出金	59,816			59,816
保健事業費	63,012			63,012
基金積立金	268,920			268,920
公債費	3,904			3,904
諸支出金	47,431	518,844		566,275
予備費	25,000			25,000
合 計	337,510,351	518,844	0	338,029,195

2 平成22年度上半期の歳入歳出予算の執行状況

予算執行状況については次のとおりです。

●一般会計の予算執行状況(平成22年9月30日現在)

(歳入)

(単位:千円)

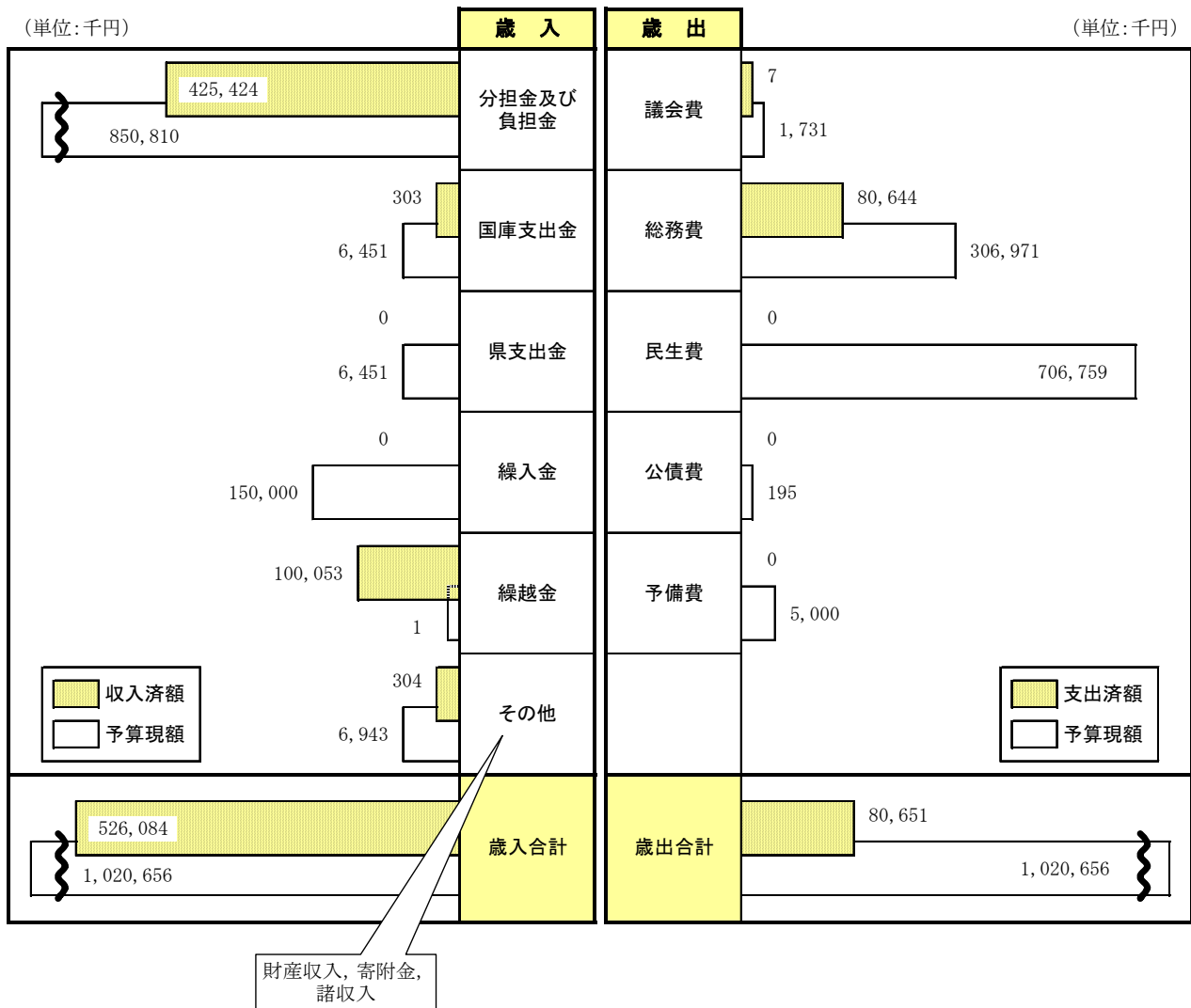
区 分	予算現額 (A)	収入済額 (B)	収入率 (B/A)
分担金及び負担金	850,810	425,424	50.0%
国庫支出金	6,451	303	4.7%
県支出金	6,451	0	0.0%
財産収入	5,998	3	0.1%
寄附金	1	0	0.0%
繰入金	150,000	0	0.0%
繰越金	1	100,053	10,005,300.0%
諸収入	944	301	31.9%
合 計	1,020,656	526,084	51.5%

(歳出)

(単位:千円)

区 分	予算現額 (A)	支出済額 (B)	支出率 (B/A)
議会費	1,731	7	0.4%
総務費	306,971	80,644	26.3%
民生費	706,759	0	0.0%
公債費	195	0	0.0%
予備費	5,000	0	0.0%
合 計	1,020,656	80,651	7.9%

グラフ「平成22年度一般会計予算の執行状況（平成22年9月30日現在）」



(注) 上のグラフには、視覚的にわかりやすくするため、数値に対する棒グラフの長さの比率を修正している箇所があります。

●後期高齢者医療特別会計の予算執行状況(平成22年9月30日現在)

(歳入)

(単位:千円)

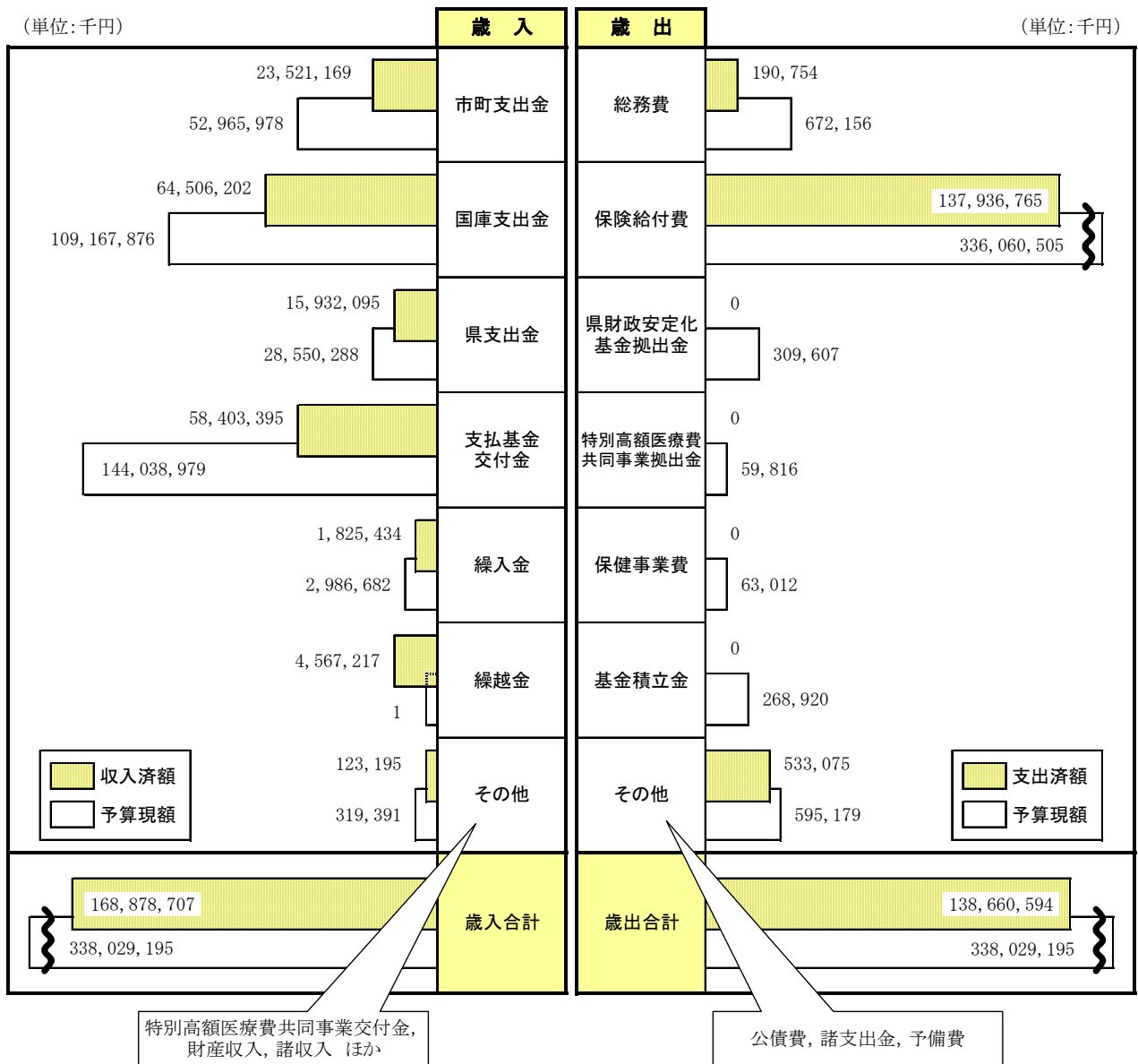
区 分	予算現額 (A)	収入済額 (B)	収入率 (B/A)
市町支出金	52,965,978	23,521,169	44.4%
国庫支出金	109,167,876	64,506,202	59.1%
県支出金	28,550,288	15,932,095	55.8%
支払基金交付金	144,038,979	58,403,395	40.5%
特別高額医療費 共同事業交付金	59,600	0	0.0%
財産収入	2,403	31	1.3%
寄附金	1	0	0.0%
繰入金	2,986,682	1,825,434	61.1%
繰越金	1	4,567,217	456,721,700.0%
県財政安定化 基金借入金	1	0	0.0%
諸収入	257,386	123,164	47.9%
合 計	338,029,195	168,878,707	50.0%

(歳出)

(単位:千円)

区 分	予算現額 (A)	支出済額 (B)	支出率 (B/A)
総務費	672,156	190,754	28.4%
保険給付費	336,060,505	137,936,765	41.0%
県財政安定化 基金拠出金	309,607	0	0.0%
特別高額医療費 共同事業拠出金	59,816	0	0.0%
保健事業費	63,012	0	0.0%
基金積立金	268,920	0	0.0%
公債費	3,904	0	0.0%
諸支出金	566,275	533,075	94.1%
予備費	25,000	0	0.0%
合 計	338,029,195	138,660,594	41.0%

グラフ「平成 22 年度後期高齢者医療特別会計予算の執行状況（平成 22 年 9 月 30 日現在）」



(注) 上のグラフには、視覚的にわかりやすくするため、数値に対する棒グラフの長さの比率を修正している箇所があります。

3 広域連合が所有する財産の現在高

広域連合では、その行政目的を達成するため、財産を管理・運用しています。
財産は、管理状況を明確にし、常にその目的に応じて最も効率的に運用するように努めています。
平成22年9月30日現在において、広域連合が所有する財産は、次のとおりです。

【 物 品 】

区 分	数 量	摘 要
物 品	4	高速印刷機1台, 財務会計システム1式, 広域連合システムDBサーバ関連機器1式, 広域連合システム処理結果検証用機器1式

(取得価格1件100万円以上の物品)

【 基 金 】

名 称	区 分	金 額 (円)	摘 要
財政調整基金	債 権	0	決算剰余金等を積み立て、不測の支出に備えるための基金
	現 金	368,694,718	
	合 計	368,694,718	
後期高齢者医療制度 臨時特例基金	債 権	0	被用者保険の被扶養者であった被保険者の保険料激変緩和措置等の財源補てんのための基金
	現 金	577,902,896	
	合 計	577,902,896	
後期高齢者医療給付 準備基金	債 権	0	徴収した保険料のうち、その年度に余ったものを積み立て、次年度以降の給付に充てるための基金
	現 金	2,610,131,821	
	合 計	2,610,131,821	

4 一時借入金及び地方債の借入状況

(1) 一時借入金

一時借入金とは、一時的な現金の不足を補うための年度内の短期借入金です。
平成22年4月1日から9月30日までの間に、一時借入金の借入れはありませんでした。

(2) 地方債（広域連合債）

地方債とは、その償還が借入年度以降にわたる長期の借入金で、多額の事業費の財源を確保し、費用負担の世代間格差を是正するために認められているものです。

平成22年9月30日現在において、地方債の借入れはありません。

主要な予算科目の内容

1 一般会計

(歳 入)

区 分	説 明
分担金及び負担金	広域連合を構成する23市町からの事務費分担金
国庫支出金	医療費が著しく低い市町（神石高原町）の被保険者の保険料を軽減した額の1/2の国庫負担金
県支出金	医療費が著しく低い市町（神石高原町）の被保険者の保険料を軽減した額の1/2の県負担金
財産収入	基金の運用預金利子
寄附金	広域連合に対する寄附金
繰入金	財政調整基金からの繰入れ
繰越金	前年度の決算剰余金の繰越し
諸収入	その他の収入

(歳 出)

区 分	説 明
議会費	広域連合の議員報酬や議会の運営のための経費
総務費	職員の人件費や広域連合の運営に要する経費
民生費	後期高齢者医療特別会計の事務費等の経費に充てる繰出金
公債費	一時的な現金不足に対処するため、金融機関等から借り入れる資金に対する支払利子
予備費	不測の支出に備えるための経費

2 後期高齢者医療特別会計

(歳 入)

区 分	説 明
市町支出金	被保険者から徴収した保険料や、被保険者が受けた医療給付の1/12相当の公費負担を市町から受けるもの
国庫支出金	被保険者が受けた医療給付の3/12相当の公費負担や、広域連合間の財政調整を目的とした調整交付金等
県支出金	被保険者が受けた医療給付の1/12相当の公費負担や、高額な医療費に対する県の負担金（負担率1/4）
支払基金交付金	社会保険診療報酬支払基金からの後期高齢者支援金
特別高額医療費 共同事業交付金	著しく高額な医療費の発生による影響を緩和するための交付金
財産収入	基金の運用預金利子
寄附金	医療費に対する寄附金
繰入金	一般会計、臨時特例基金、給付準備基金からの繰入金
県財政安定化基金 借入金	後期高齢者医療の財政安定化を目的に県が設置する基金からの借入金
諸収入	その他の収入
繰越金	前年度の決算剰余金の繰越し

(歳 出)

区 分	説 明
総務費	後期高齢者医療制度の事務執行に伴う経費
保険給付費	療養給付費、高額療養費、葬祭費等の保険給付のための経費
県財政安定化基金 拠出金	後期高齢者医療の財政安定化を目的に県が設置する基金に積み立てる経費
特別高額医療費 共同事業拠出金	全国の広域連合が負担し、特別高額医療費共同事業交付金の財源となる拠出金
保健事業費	各市町で行う後期高齢者医療制度被保険者の健康診査に対する補助金
基金積立金	臨時特例基金、給付準備基金に積み立てる経費
公債費	一時的な現金不足に対処するため、金融機関等から借り入れる資金に対する支払利子
諸支出金	前年度負担金等の精算に伴う返還金、保険料還付金及び還付加算金等
予備費	不測の支出に備えるための経費

平成21年度広域連合の決算の状況

1 平成21年度の事業

平成21年度は、平成20年4月1日の後期高齢者医療制度施行後に実施した各種の広報事業や、保険料負担の軽減を中心とした国の特別対策事業などによって、ある程度制度も定着しました。

こうした中、広域連合では前年度に引き続き、被保険者に安定した医療給付を実施していくため、各種の事業を行って制度の円滑かつ効率的な運営に努めました。

各会計の主な支出は次のとおりです。

●平成21年度一般会計の主な事業

主な経費としては、後期高齢者医療特別会計の事務費に充てるための繰出金(589,161 千円)、派遣職員の給与費等負担金(241,773 千円)、将来の財政負担に備える財政調整基金への積立金(127,069 千円)、不均一賦課保険料に関する国及び県負担分の特別会計への繰出金(17,566 千円)等となっています。

●平成21年度後期高齢者医療特別会計の主な事業

主な経費としては、被保険者が医療機関等で受診した医療費等に対する保険給付費(308,933,935 千円)、保険料の軽減等に充てるための臨時特例基金への積立金(2,164,659 千円)、将来の保険給付費の増大に備えるための給付準備基金への積立金(827,340 千円)、電算処理システムの安定稼動と適正運用のための広域連合電算処理システム運用管理事業(185,369 千円)、レセプト点検や医療費通知、後発医薬品の周知等の医療費適正化事業(171,556 千円)、レセプトの資格確認等の事務代行業務委託料(171,546 千円)等となっています。

2 平成21年度一般会計の決算状況

歳入決算額 11億2,526万4,503円
 歳出決算額 10億2,521万1,727円 歳入歳出差引額 1億5万2,776円

この差引額は、平成21年度の剰余金として平成22年度に繰り越し、不測の支出に備えるため、財政調整基金へ積み立てます。

(1) 歳入の状況

平成21年度一般会計の財源構成は、構成市町からの負担金が全体の85.8%を占め、次いで前年度からの繰越金が12.5%、国・県支出金がそれぞれ0.8%となっています。

前年度と比較すると、合計で△28,838千円(△2.5%)と、わずかな減となっておりますが、これは、繰越金が△31,345千円(△18.3%)と減少したことによるものです。

(歳入)

(単位:千円)

区分	予算現額 (A)	収入済額 (B)	収入率 (B/A)	全体に 占める 割合	前年度 収入済額 (C)	増減 (D=B-C)	増減率 (D/C)
分担金及び負担金	965,650	965,650	100.0%	85.8%	964,513	1,137	0.1%
国庫支出金	9,066	8,897	98.1%	0.8%	8,493	404	4.8%
県支出金	9,191	9,028	98.2%	0.8%	8,225	803	9.8%
財産収入	409	409	100.0%	0.0%	33	376	1,139.4%
寄附金	1	0	0.0%	0.0%	0	0	—
繰入金	24,977	0	0.0%	0.0%	0	0	—
繰越金	140,186	140,185	100.0%	12.5%	171,530	△31,345	△18.3%
諸収入	2	1,096	54,800.0%	0.1%	1,309	△213	△16.3%
合計	1,149,482	1,125,265	97.9%	100.0%	1,154,103	△28,838	△2.5%

(注)端数処理の都合で全体に占める割合の合計が100.0%にならない場合があります。

(2) 歳出の状況

平成21年度の歳出の状況を行政目的別に見ると、特別会計事務費繰出金等の民生費が59.2%を占め、次いで派遣職員の給与費負担金等の総務費が全体の40.7%となっています。

前年度と比較すると、総務費が財政調整基金の積立金の減額により、△92,485千円(△18.1%)の減となりましたが、特別会計への繰出金である民生費が103,721千円(20.6%)の増となり、合計で11,294千円(1.1%)の増となりました。

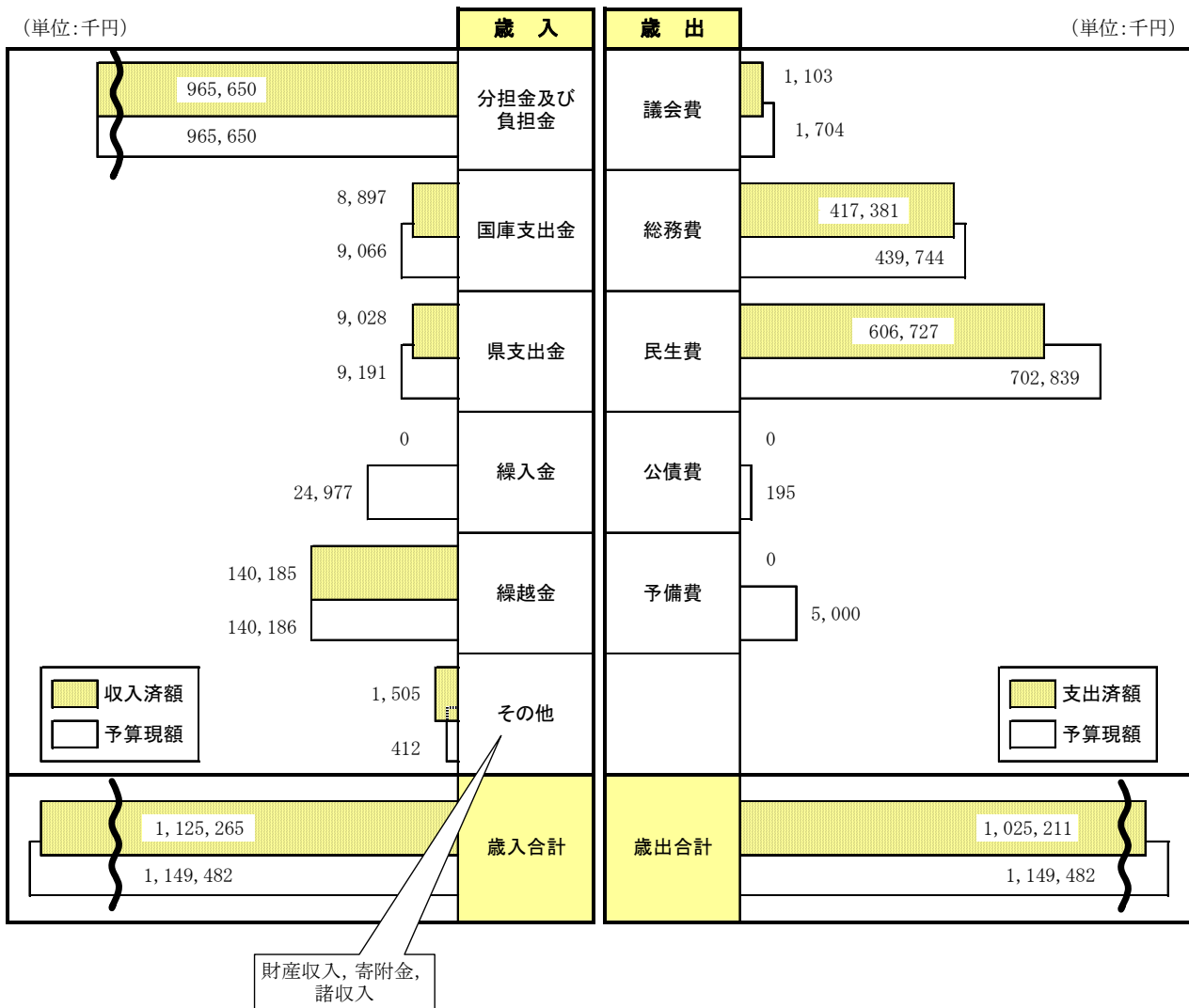
(歳出)

(単位:千円)

区 分	予算現額 (A)	支出済額 (B)	支出率 (B/A)	全体に 占める 割合	前年度 支出済額 (C)	増減 (D=B-C)	増減率 (D/C)
議会費	1,704	1,104	64.8%	0.1%	1,046	58	5.5%
総務費	439,744	417,381	94.9%	40.7%	509,866	△92,485	△18.1%
民生費	702,839	606,727	86.3%	59.2%	503,006	103,721	20.6%
公債費	195	0	0.0%	0.0%	0	0	—
予備費	5,000	0	0.0%	0.0%	0	0	—
合 計	1,149,482	1,025,212	89.2%	100.0%	1,013,918	11,294	1.1%

(注) 端数処理の都合で全体に占める割合の合計が100.0%にならない場合があります。

グラフ「平成 21 年度一般会計歳入歳出決算の状況」



(注) 上のグラフには、視覚的にわかりやすくするため、数値に対する棒グラフの長さの比率を修正している箇所があります。

3 平成21年度後期高齢者医療特別会計の決算状況

歳入決算額 3,214億1,325万6,824円
 歳出決算額 3,168億4,603万9,551円 歳入歳出差引額 45億6,721万7,273円

この差引額は、平成21年度の剰余金として平成22年度に繰り越し、精算に伴う平成21年度交付分の国庫負担金、支払基金交付金等の返還相当分を除いた額を、医療給付費等の支出に充てるため、後期高齢者医療給付準備基金へ積み立てます。

(1) 歳入の状況

平成21年度後期高齢者医療特別会計の財源構成は、現役世代からの支援金である支払基金交付金が全体の41.9%を占め、次いで国庫支出金が33.5%、市町支出金が15.3%、県支出金が7.9%となっています。

平成21年度は、平成20年度に11か月分であった保険給付費が12か月分となったため、それに対応する各歳入費目も前年度と比較した増加率が高くなっています。

(歳入)

(単位:千円)

区分	予算現額 (A)	収入済額 (B)	収入率 (B/A)	全体に 占める 割合	前年度 収入済額 (C)	増減 (D=B-C)	増減率 (D/C)
市町支出金	50,566,586	49,166,205	97.2%	15.3%	44,646,363	4,519,842	10.1%
国庫支出金	106,026,029	107,738,781	101.6%	33.5%	92,942,806	14,795,975	15.9%
県支出金	26,194,048	25,406,814	97.0%	7.9%	20,667,602	4,739,212	22.9%
支払基金交付金	139,089,570	134,690,308	96.8%	41.9%	113,475,133	21,215,175	18.7%
特別高額医療費 共同事業交付金	34,029	35,265	103.6%	0.0%	18,287	16,978	92.8%
財産収入	4,024	4,022	100.0%	0.0%	118	3,904	3,308.5%
寄附金	1	0	0.0%	0.0%	0	0	—
繰入金	3,408,755	2,230,172	65.4%	0.7%	1,014,746	1,215,426	119.8%
県財政安定化 基金借入金	1	0	0.0%	0.0%	0	0	—
諸収入	111,294	262,317	235.7%	0.1%	50,542	211,775	419.0%
繰越金	1,879,372	1,879,373	100.0%	0.6%	0	1,879,373	皆増
合計	327,313,709	321,413,257	98.2%	100.0%	272,815,597	48,597,660	17.8%

(注) 端数処理の都合で全体に占める割合の合計が100.0%にならない場合があります。

(2) 歳出の状況

平成21年度の歳出の状況を行政目的別に見ると、被保険者が医療機関等で受診した医療費に対する保険給付費が全体の97.5%を占め、次いで前年度に過大に交付された国庫負担金の返還金等の諸支出金が1.2%、基金への積立金が0.9%となっています。

平成21年度は、平成20年度に11か月分であった保険給付費が12か月分となったため、前年度と比較した増加率が高くなっています。

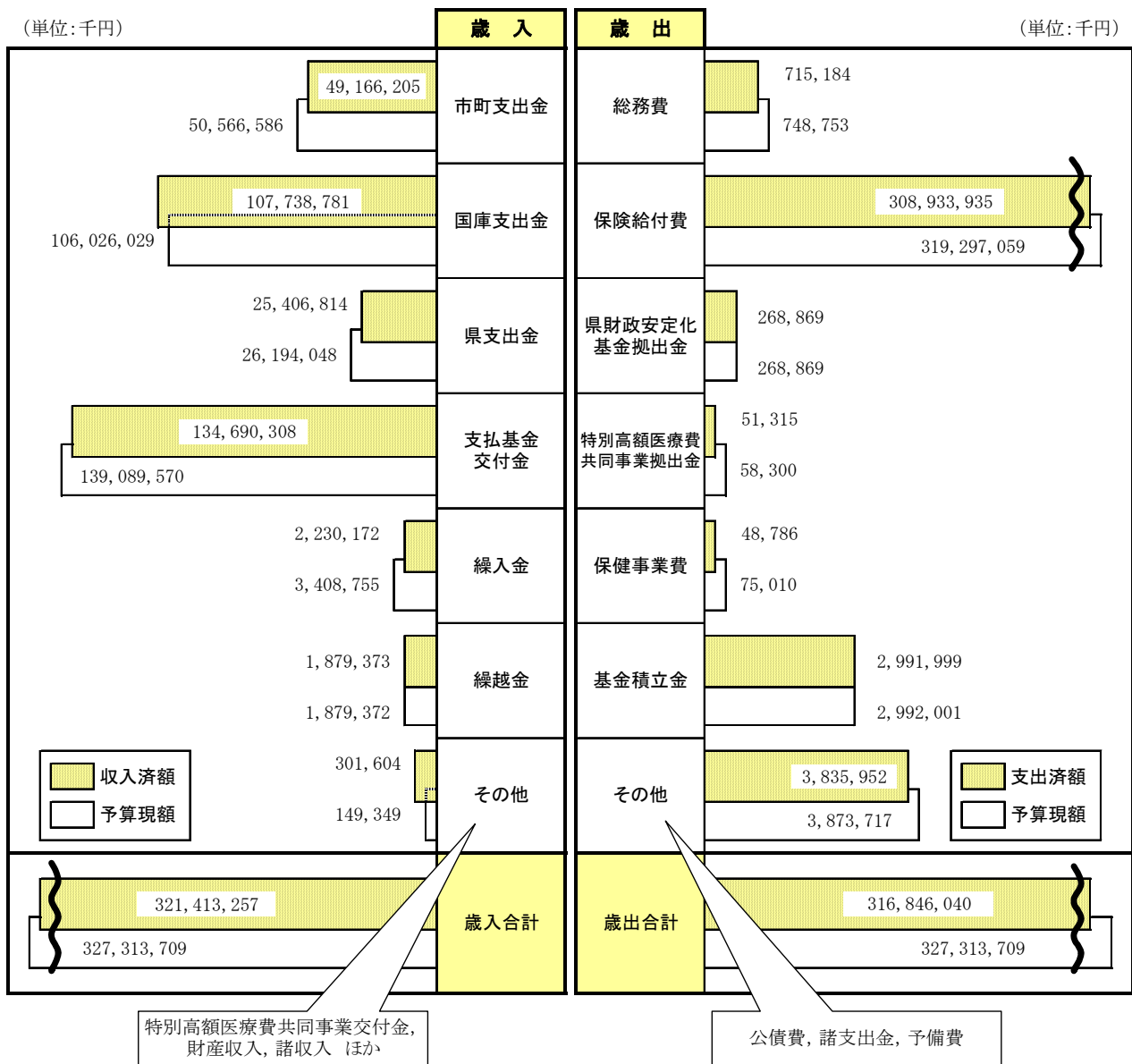
(歳出)

(単位:千円)

区分	予算現額 (A)	支出済額 (B)	支出率 (B/A)	全体に 占める 割合	前年度 支出済額 (C)	増減 (D=B-C)	増減率 (D/C)
総務費	748,753	715,184	95.5%	0.2%	706,575	8,609	1.2%
保険給付費	319,297,059	308,933,935	96.8%	97.5%	266,505,203	42,428,732	15.9%
県財政安定化 基金拠出金	268,869	268,869	100.0%	0.1%	268,870	△1	△0.0%
特別高額医療費 共同事業拠出金	58,300	51,315	88.0%	0.0%	25,312	26,003	102.7%
保健事業費	75,010	48,786	65.0%	0.0%	37,196	11,590	31.2%
基金積立金	2,992,001	2,991,999	100.0%	0.9%	3,392,220	△400,221	△11.8%
公債費	7,809	0	0.0%	0.0%	0	0	—
諸支出金	3,840,908	3,835,952	99.9%	1.2%	848	3,835,104	452,252.8%
予備費	25,000	0	0.0%	0.0%	0	0	—
合計	327,313,709	316,846,040	96.8%	100.0%	270,936,224	45,909,816	16.9%

(注) 端数処理の都合で全体に占める割合の合計が100.0%にならない場合があります。

グラフ「平成 21 年度後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の状況」



(注) 上のグラフには、視覚的にわかりやすくするため、数値に対する棒グラフの長さの比率を修正している箇所があります。